

平成 23～27 年度文部科学省特別経費事業「先進的教員養成プロジェクト」中間報告会・シンポジウム
教員の資質向上に寄与する『大学と学校・教育委員会の協働』の実現
—学校教育改善との連動で教員養成教育を進化させる— 開催

岡山大学では、平成 23 年度から実施している文部科学省特別経費事業「先進的教員養成プロジェクト」の 3 年目終了に当たり、本日 3 月 7 日（金）、上記中間報告会・シンポジウムを教育学部にて開催しました。

当日は、他大学・教育行政・学校から約 100 名が参加し、限られた時間ながら、大変有意義な一日となりました。文部科学省高等教育局大学振興課長の里見朋香氏並びに岡山県教育庁高校教育課長の近藤治氏の来賓挨拶で始まり、本プロジェクトの取組概要報告に引き続き、里見朋香氏から「教員養成改革の動向」と題して基調講演をいただきました。後半には、「教科内容構成事業」及び「学校課題解決のためのオンデマンド研修とインターンシップ実習の連動事業」の中間報告及び中教審委員の高橋香代氏による本事業の評価と助言がありました。その後のパネルディスカッションでは、大学・学校・教育委員会それぞれの立場から「大学と学校・教育委員会の協働」に関する取組や実践の報告があり、独立行政法人教員研修センター理事長の高岡信也氏を助言者として活発な議論が行われました。



里見朋香大学振興課長の基調講演に耳を傾ける多数の参加者



6 名のパネリストと助言者の高岡信也理事長